

Japan Digital Engineering Technologies and Ecosystems (Japanese Version with Key English Language Reports)

デジタルツイン時代に向け産業領域への取り組みを強化する IT ベンダーや通信事業者が増えています。そこで重要になるのが、業務プロセスを超えたさまざまなデータ活用と、AI、デジタルツイン/スレッド、5G、エッジコンピューティング、AR/VR、ロボティクス、OT セキュリティなどの次世代技術を用いて顧客の課題を解決するソリューションやサービスの提供です。デジタルエンジニアリングは、従来のプロダクトエンジニアリングや OT (Operational Technology) を高度化し、産業を変革します。IDC Japan 年間情報サービス「Japan Digital Engineering Technologies and Ecosystems (Japanese Version with Key English Language Reports)」は、産業分野向けのデジタルエンジニアリング関連の技術とサービスの市場を分析するとともに、関連市場の予測を提供します。2025 年からは、IoT 市場とエッジコンピューティング市場の予測を合わせて提供します。

MARKETS AND SUBJECTS ANALYZED

- プロダクトエンジニアリング (PE) / OT
- デジタルエンジニアリング関連基盤 (IoT、産業分野向け 5G、エッジコンピューティング)
- デジタルツイン/デジタルスレッド
- 産業現場での AI 活用

CORE RESEARCH

- 国内デジタルエンジニアリング動向
- 国内 IoT/エッジコンピューティング/産業向け 5G 市場規模予測
- 国内デジタルツインおよび産業向け AI 動向
- 国内デジタルエンジニアリング企業ユーザー調査

上記リサーチは市場環境などの変化に応じて変更される可能性があります。発行レポートをご覧になりたい場合は以下 Web サイトをご参照ください。: [Japan Digital Engineering Technologies and Ecosystems \(Japanese Version with Key English Language Reports\)](#).

KEY QUESTIONS ANSWERED

1. デジタル化は PE/OT をどう変えるか?
2. デジタルエンジニアリング市場規模予測は?
3. 産業向け 5G、エッジ IT、IoT の市場規模予測は?
4. 競合他社の動向は?
5. 産業 DX に取り組み企業のニーズは?
6. デジタルツインの動向とは?

COMPANIES ANALYZED

IDC では、次のベンダーの企業戦略、競合状況などの比較/分析を行います (アルファベット順、50 音順)。

アクセンチュア、KDDI、NEC、NSSOL、NTT コミュニケーションズ、NTT ドコモ、NTT データ、NTT 東日本、NTT 西日本、TIS、アマゾン、エヌビディア、エリクソン、オブテージ、京セラ、グーグル、サムスン、シスコシステムズ、ソフトバンク、

タタ・コンサルタンシー・サービス、東芝、ネットワークシステムズ、ノキア、パナソニック、日立システムズ、日立製作所、富士通、マイクロソフト、三菱電機、楽天、その他